会議等名	令和５年第５回海老名市外部評価委員会
日　　時	令和５年 12 月５日（火）　13：55～ 14：45
場　　所	海老名市役所　３階　政策審議室
出 席 者	外部評価委員：谷村委員長、西海副委員長、阿部副委員長、城向委員、菅生委員、石井委員、金岡委員、永野委員、市野澤委員、田中委員、大島委員、山田委員 （以上 12 名出席） 事　務　局：藤川財務部長、佐藤財務部次長、井上財務部参事兼企画財政課長、久保寺政策経営係長、田村主査、神尾主事

１　開会

２　あいさつ

（１）部長あいさつ

（２）委員長あいさつ

※あいさつ終了後、藤川財務部長及び佐藤財務部次長は退席。

３　議題

（１）海老名市指定管理者第三者評価の結果報告について

【事務局より資料に基づき説明】

【委員より意見・質問】

○　過去に指定管理者が変わった施設はあるか。

（事務局回答）文化会館・市民ギャラリーがある。同施設は、今回が指定管理者の変更後、最初の第三者評価となった。また、食の創造館は、施設の仕様や運営方針が大きく変わることから指定管理から直営に戻した経緯がある。指定管理者は、指定期間が終了する年に公募し、改めて選定するため、今後、他の施設においても変わる場合がある。

○　第三者評価の外注費用はいくらか。

（事務局回答）入札を行っており、166 万 1,000 円で落札された。

○　単独とＪＶによる指定管理者がいる。ＪＶの場合の責任体制はどのようになっているか。

（事務局回答）共同企業体による指定管理者の場合、代表企業がいるため、基本的には代表企業が構成企業に指示をだす仕組みになっている。

○　海老名駅自由通路・海老名中央公園の指定管理者である小田急・相鉄グループの構成企業を伺う。

（事務局回答）小田急電鉄、小田急ビルサービス、小田急エージェンシー、相鉄企業の４社である。

○　海老名駅自由通路・海老名中央公園において、「施設の収支決算状況」の第三者評価がＣとなっている。このような施設で黒字になるとはどういうことか。

（事務局回答）市からの指定管理料のほかに、自主事業や利用料金により収益を得られる仕組みになっている。

○　市からの指定管理料と自主事業等の収益があるにもかかわらず、赤字ということか。

（事務局回答）施設に係る収支のほか、団体としての収支も評価の対象になっている。そのため、施設は赤字でなくても、団体の決算状況によっては厳しい評価となることもある。

○　なぜ第三者が決算状況を評価するのか。

（事務局回答）公募時に市でも財務状況の確認は行っているが、５年の指定管理期間を継続して運営をしてもらうためには、安定した財務基盤が必要であるため、第三者が決算状況を評価している。

○　海老名駅自由通路・海老名中央公園の評価報告書の５ページ目に「約3,000 万円の損失が発生」と記載されているが、これは、市からの指定管理料と自主事業等による収益が支出を下回り、指定管理者が 3,000 万円を損したということか。

（事務局回答）単年度で 3,000 万円の赤字が発生したということであるが、この赤字分はコロナの影響により広告主が戻りきっていないことが要因とされている。この赤字は、指定管理者が自主事業等により収益を増やして５年間の指定管理期間内で埋めてもらうことになる。

○　指定管理者制度においては、サービスの向上や経費の節減が重要である。施設の収支決算状況について、コロナウイルス感染症の影響により、Ｃと評価されている施設があるが、コロナ禍でどのような工夫をしたのか、なぜ達成度が低いのかなどの分析が必要である。

○　コメントに「コロナウイルス感染症の影響」とあるが、コロナ禍で見直さなければならないことも見えたと思う。コロナウイルス感染症の影響を踏まえて事業計画をたて、次に繋げてほしい。

○　外部評価委員会に本報告をする意義を明確にしてほしい。細かい資料がないと、評価理由がわからない。

（事務局回答）第三者評価は平成 29 年度から導入した。この評価制度や資料のつくりに対するアドバイスをいただくため、外部評価委員会に評価結果を報告させていただいている。いただいたご意見は、今後の第三者評価業務に役立てていきたい。

○　以前は、業者から細かく第三者評価結果を説明してもらえたので、理解できた部分があったが、今回のような概要のみの報告だとわかりづらい。

○　第三者評価を委託する是非がわからない。意味合いをもたせたほうがよい。

○　自己評価は誰が行っているのか。企画財政課はどのように第三者評価にかかわっているのか。

（事務局回答）自己評価は、指定管理者自身が自己管理施設を評価したもので、それを第三者機関が客観的に評価しているものが今回の報告書である。企画財政課はこの報告書を受け取り、各所管課へ第三者評価で指摘された事項の改善指導や年度末の評価をお願いしている。

○　評価項目の中で「利用者の満足度」が最も大事である。収支決算は黒字でも、利用者の満足度が低ければよろしくない。そのすりあわせができていないため、評価の仕組みに疑問を感じる。

（２）その他

今期で退任される委員からのあいさつ

４　閉会